

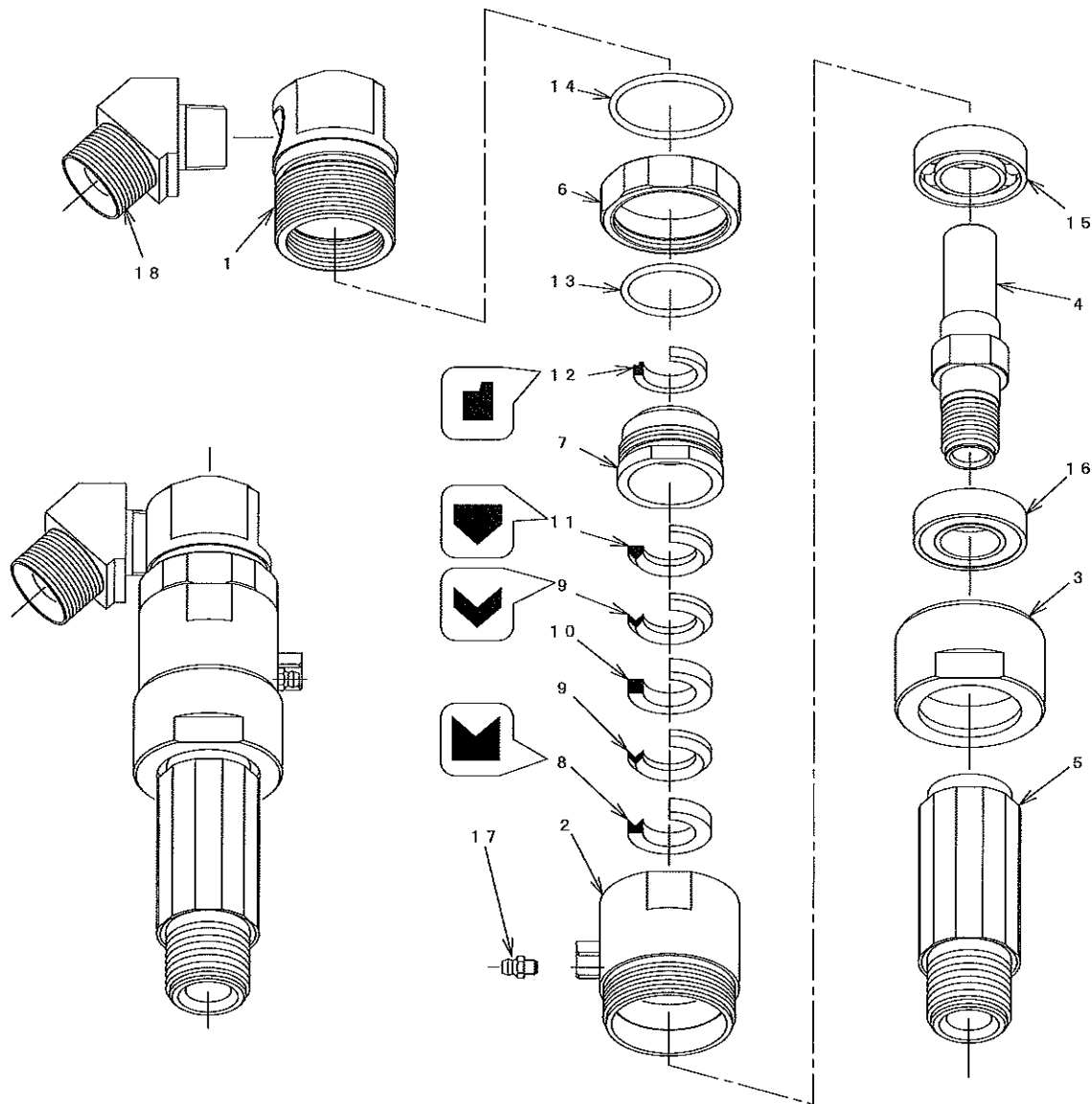
ウォータースイベル組立手順書

<WS-9>

<W0703-0817A>

(株) 扶桑工業

1-1 ウォータースイベル (WS-9) 分解図

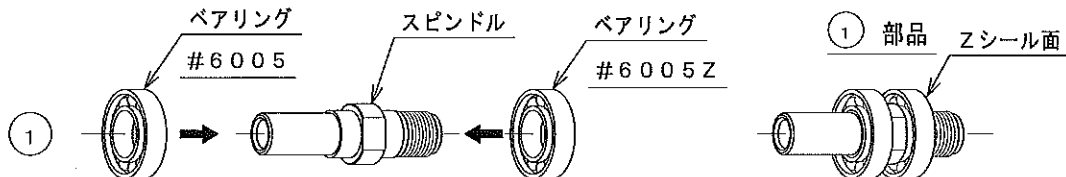


見出番号	部品名	備考	使用個数
1	ヘッド	W3-0815	1
2	パッキンケース	W3-0816	1
3	ベアリングケース	W4-0529	1
4	スピンドル	W3-0248B	1
5	カップリング	W3-0249	1
6	ロックナット	W4-0532	1
7	パッキンスリーブ	W4-0530 (ダストシール用)	1
8	メスアダプター	VF1-22.4 (V99F用)	1
9	Vパッキン	V99F-22.4	2
10	ラミーパッキン	IC-212F □6.4	1
11	オスアダプター	VM1-22.4 (V99F用)	1
12	ダストシール	DS1 (22.4×30, 4×4, 5×6)	1
13	Oリング	1AG35	1
14	Oリング	1AG45	1
15	ベアリング	#6005	1
16	ベアリング	#6005Z	1
17	グリースニップル	MT6×1	1
18	アダプター	1036-1216	1

1-2 組立前準備

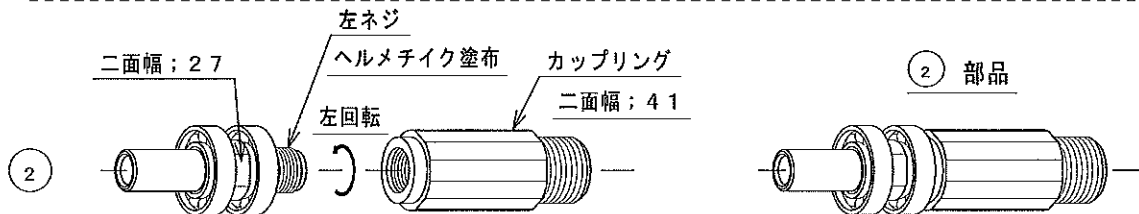
- ・ 部品個数の確認
- ・ 部品をシンナー等で洗浄
- ・ 部品のバリ等の除去
- ・ 部品の各部のネジ合わせ

1-3 組立手順



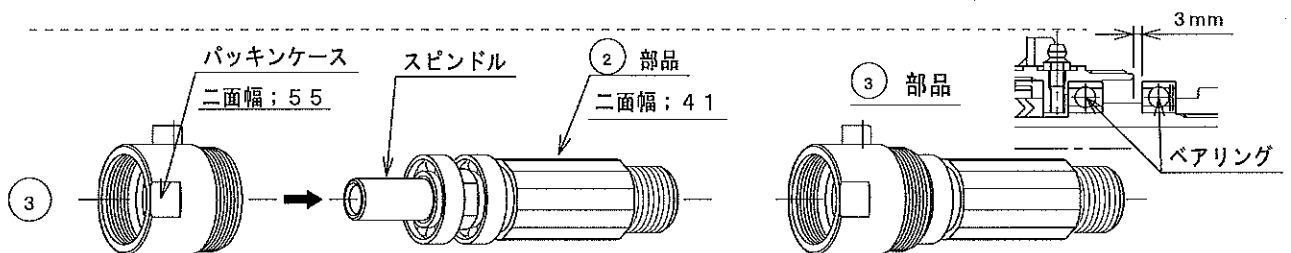
スピンドルにベアリング#6005と#6005Zを両側より打ち込む。

※ 右側のベアリングは、片側Zシール付のためZシール面が外側に向くように打ち込んで下さい。

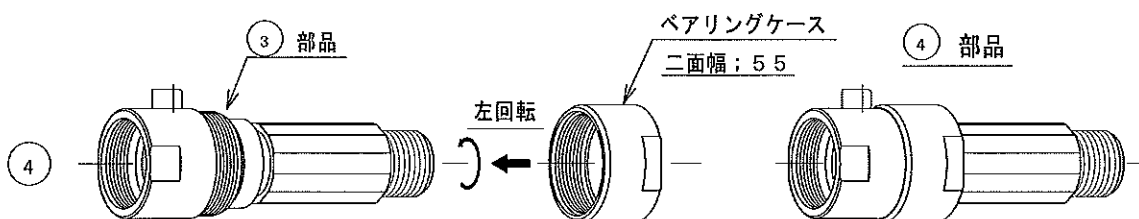


①で組み込んだスピンドルのネジ部にヘルメチックを塗り、カップリングを万力に固定し、27のスパナでスピンドルの二面幅を左に回しながらしっかりと閉めこんで下さい。

※ ネジ部には、油分が無いよう洗浄して下さい。 ヘルメチック; 多用途配管防食シール剤 (F-119)

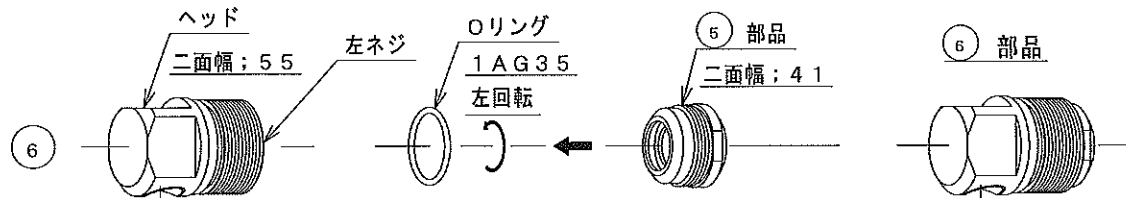
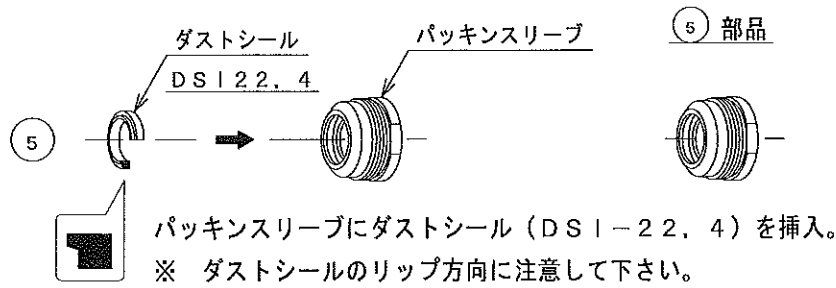


パッキンケースに②で組まれた部品のスピンドル部にグリースを塗り挿入する。パッキンケースの右端とスピンドルに組み込まれた右側のベアリングの隙間が3mmになるまで押し込む。

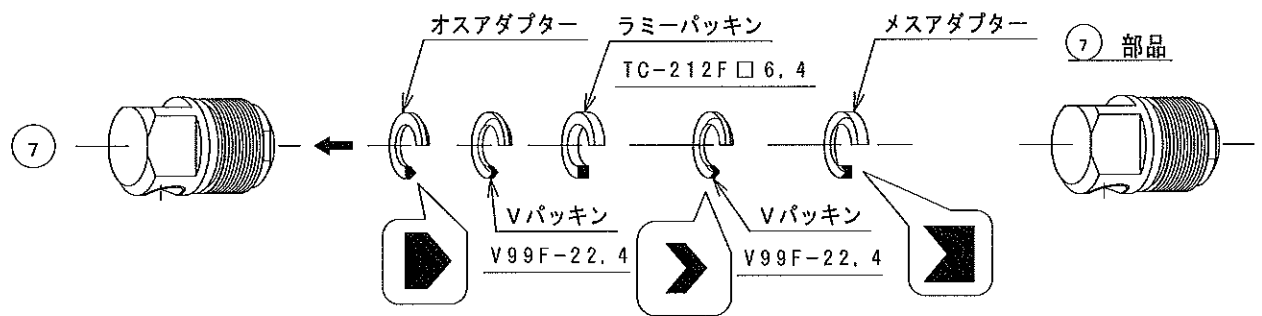


③で組み込まれたパッキンケースを万力で固定しベアリングケースを55のスパナで左に回転し締めこむ。

※ ネジ部には、光明丹(防錆、焼き付き防止剤)等を含む油脂を塗って下さい。

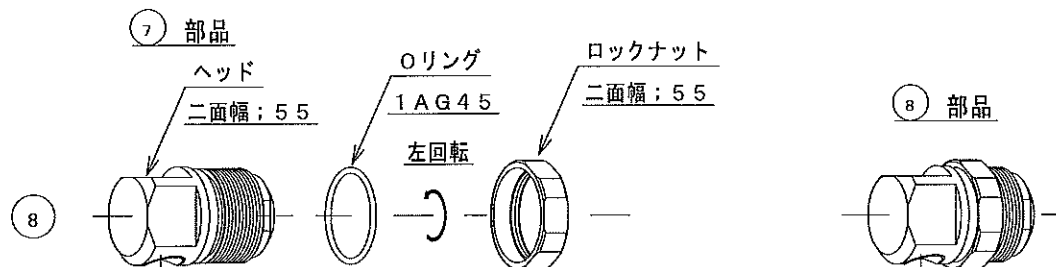


ヘッドにグリースを塗布したOリングを入れ、⑤ 部品を41のスパナで左に回しながら締め込む。



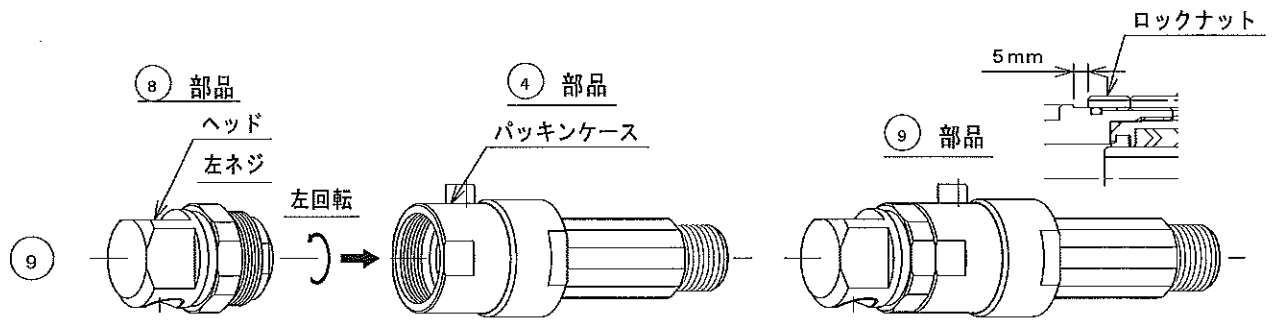
⑥ 部品にオスアダプター, Vパッキン, ラミーパッキン, Vパッキン, メスアダプターの順にグリースを塗ってから入れて下さい。

※ グリース; 万能グリース (粘土グレード NLG1-2) 5頁 1-6を参照



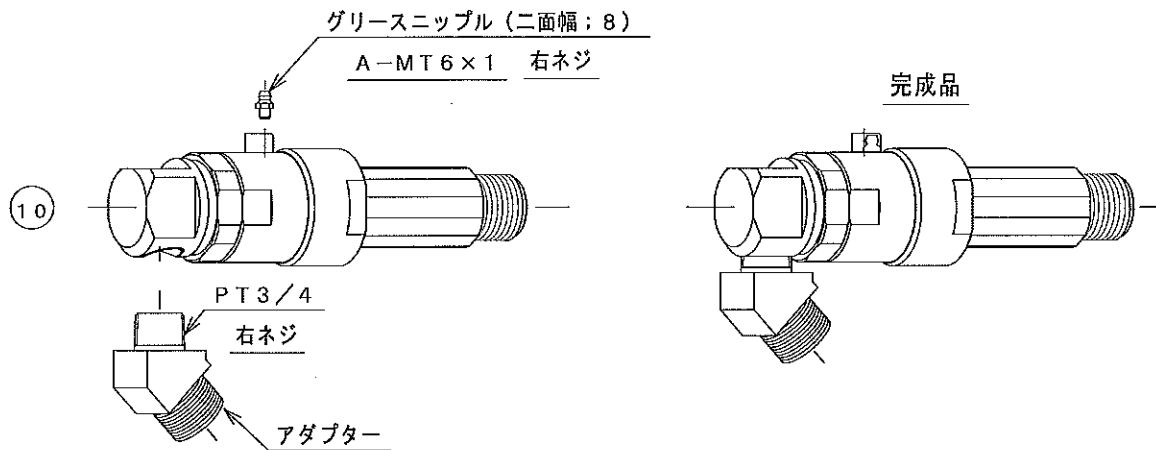
⑦ で組まれた部品のヘッド部にグリースを塗布したOリングを嵌め込みロックナットを左回転させながら奥までねじ込んで下さい。

※ ネジ部には、光明丹 (防錆, 焼き付き防止剤) 等を含む油脂を塗って下さい。



④と⑧で組み込まれた部品を左回転させながら閉め込み、ロックナットとヘッドねじ端部の隙間が5mmになるよう調整してロックナットで固定する。

※ ネジ部には、光明丹（防錆，焼き付き防止剤）等を含む油脂を塗って下さい。



ヘッドを万力に固定し、アダプター（1036-1216）のネジ部にヘルメチックを塗り右回転させながらねじ込む。

⑨で組み込まれた部品のパッキンケースにグリースニップルを取り付ける。

※ グリースの注入は、8回程度とする。

1-4 パッキンの調整

ウォータスイベルから水漏れが発生した場合下記の要領でパッキンの増し締めを行って下さい。

パッキンケースとロックナットの二面幅に55のスパナを掛け、ロックナットを右に回し上端にくるまで（約5mm）緩めます。

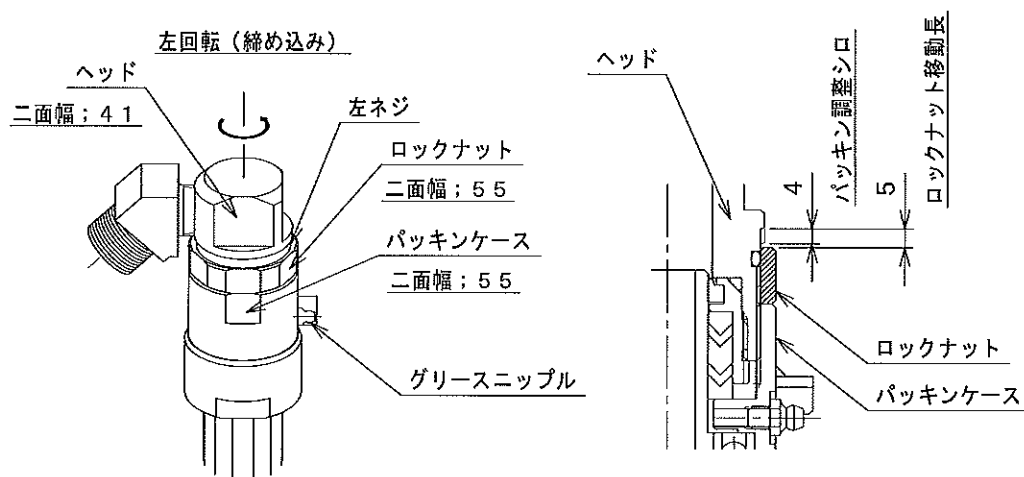
パッキンケースを55のスパナで固定し、ヘッドの二面幅に41のスパナを掛け、左に回しながら締め込みます。カップリングを手で回し、軽く回転するか確認して下さい。

（ヘッドを半回転（180度）回すと約1mm締め込むことができます。）

水漏れ具合に合わせて締め込み量を調整して下さい。（最初は1mm程度の調整で様子を見て下さい。調整シロは、最大4mmです。）

締め込みが完了したら、ロックナットを左に回しヘッドが緩まないよう、パッキンケースにしっかりと固定して下さい。

調整が完了したらウォータスイベルに水を送水して水漏れの確認をして下さい。まだ漏れがある場合は、上記調整方法で再度調整を行って下さい。



1-5 スピンドル、パッキン交換

スピンドル、パッキン等の交換方法は、前項の組立手順を参考にして下さい。

1-6 グリースの注入

グリースニップルに定期的にグリースを注入してください。一回の注入は、ポンプにて1～2押し程度。

※ グリース粘土グレード（NLGI-2）

出光	コロネックスグリース2
新日本石油（エネオス）	マルティノックス2
ジャパンエナジー（JOMO）	リゾニックグリース2
コスモ	コスモグリースダイナマックス2
昭和シェル	アルパニアグリース2